

SRS-050 SMART RIDE MONITOR AIO-5 EVO

SRS-050 スマートライドモニター AIO-5 EVO



<取扱説明書>

■ 本書は紛失しないよう大切に保管してください。

V2.0

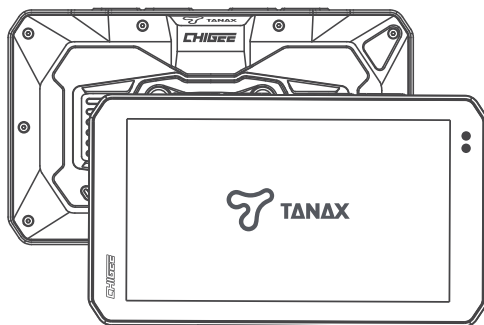


この度はTANAXのスマートライドモニターAIO-5 EVO を ご購入いただき誠にありがとうございます。

AIO-5 EVOはスマートフォンとリンクさせることでナビゲーションや音楽などの様々なアプリをオートバイで活用できるワイヤレスモニターです。お使いのスマートフォンを振動や雨、熱に晒すことなく、1200 nits の高輝度モニターで昼夜問わず鮮明な情報を確認することができ、搭載した高速モジュールにより素早くストレスフリーな操作を実現。また高性能前後カメラはドライブレコーダー機能に加え、死角検知(BSD)機能も提供。

「AIO」が意味する、まさにオールインワンの高機能デバイスです。

それでは新しい走行体験をお楽しみください!!



- 本製品は使用環境の改善・向上のため、新しいFW(ファームウェア)が不定期にリリースされます。
- FWのリリース情報は弊社HPにて告知されます。
- 本書の表記内容(画面上のメニュー名表記など)はファームウェアのバージョンによって変更される場合がございます。
- 製品が工場出荷後、お客様のお手元に届くまでの間に新しいFWがリリースされている場合がございますので、アクティベーション(初回起動)後はまず「設定」→「更新」→「アップデートの確認」でFWが最新かどうか確認を行ってください。

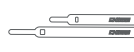
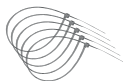
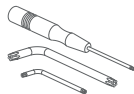
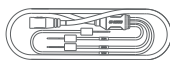
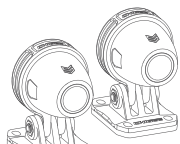
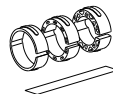
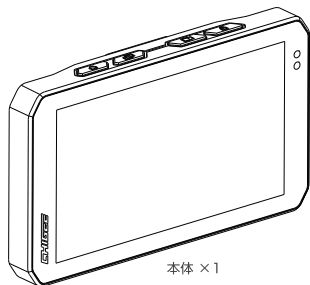
注意

△ 取り付けの注意 ●法令を守りお取り付けください。●作業の際は純正サービスマニュアルを併せてご参照ください。●本製品の取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験のない方、工具等の準備が不十分な方は必ず技術的信用のある専門店またはお買い上げの販売店等にご相談ください。●本製品は汎用品です。取り付け出来ない車両や電装機器があります。予め弊社では取り付ける電装機器の保証、説明は致しかねますので、ご了承ください。●重大な事故につながる可能性がありますので、走行前に配線の取り回し、各部品の固定に異常がないことを確認してください。また定期的に同様の点検を行ってください。●取り付け作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(車両が転倒し怪我する恐れがあります。)●配線は、極性を確認後にプラス→マイナスの順で接続し、マイナス→プラスの順に取り外してください。●取り付け後は定期的にガタツキや緩みが無いか点検を行ってください。●走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ点検を行ってください。●取り付け作業前には必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ショートによる感電や車両火災の原因になります。●感電や車両火災の原因になりますので、取り付け中は第三者が触れない場所で作業してください。●本体や配線コードなどが車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。●配線コードやカメラなどがエンジン・マフラー・排気煙等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。

△ 使用上の注意 ●法定速度以上の使用はお控えください。本体取り付けステーやカメラが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●本製品をメーターやバックミラーの代わりとして使用しないでください。重大な事故及び破損の原因になります。

01 製品概要

製品構成

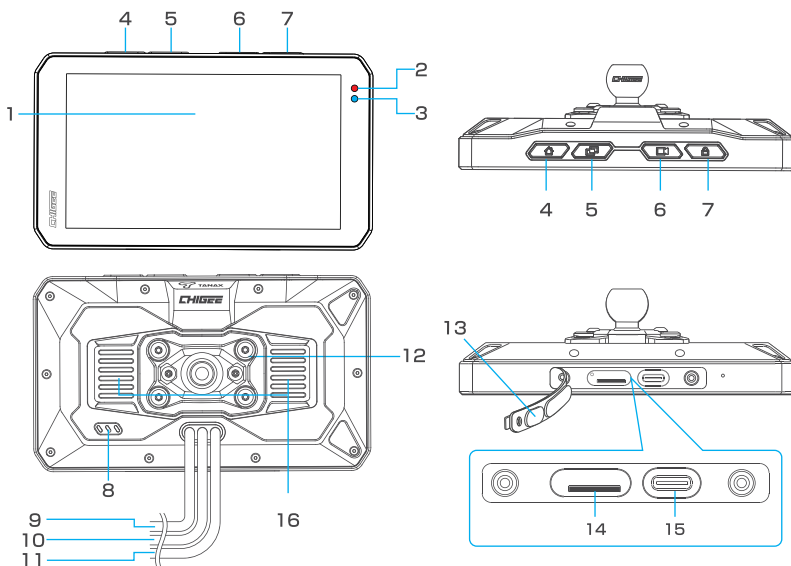


※注意

ディスプレイスクリーンには梱包用フィルムの下に画面保護用に透明のフィルムが貼られています。より丈夫なSRS-007液晶保護ガラスフィルム(別売りオプション)をご使用になる場合はこのフィルムを剥がしてから装着してください。

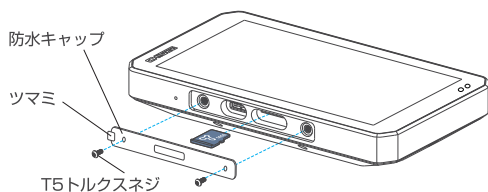
各部名称

1. ディスプレイスクリーン
2. 録画インジケータ
(録画中は点滅します)
3. 光感知センサー
4. ホームボタン
5. リンクボタン
6. ドライブレコーダーボタン
7. 画面ロックボタン
8. スピーカー
9. フロントカメラケーブル
10. バックカメラケーブル
11. 電源・GPSケーブル
12. 振動吸収ダンパーベース
13. 防水キャップ
14. SDカードスロット
15. 診断用ポート
(給電用ではありません)
16. ヒートシンク
(高温にご注意ください)



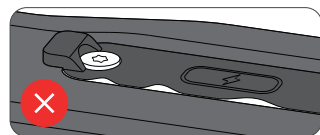
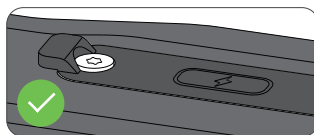
02 使用方法

microSDカードの脱着



- ① SDカードの脱着は防水キャップを開けて行います。防水キャップは2本のネジで固定されており、片側のネジを緩めれば開けられます。付属のドライバーで防水キャップのつまみに近い方のネジを緩め、防水キャップを開け、SDカードスロットにアクセスします。SDカードを取り出す際は挿入されているカードを一旦押し込み、手を離すとカードが手前出てきます。装着する場合はカードをスロットの奥まで一旦押し込み、手を離します。

- ② microSDカードを脱着後は、防水キャップを本体と面一になるまでしっかりと押し込んで取り付けてください。防水キャップがしっかりと押し込まれます、たわんでいたり歪んでいる状態を取り付けられると、防水性能が損なわれ故障の原因になります。



※注意

SDカードの脱着がやり難い場合はピンセット等をご使用ください。

⚠注意

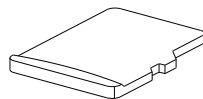
ネジを緩めずに防水キャップを無理やり開けると、防水キャップの破損につながり、防水性能の低下に繋がりますのでご注意ください。SDカードスロットの隣のUSBポートは工場での診断用です。給電は行わないでください。

録画と画像の保存について

本製品AIO-5 EVOは、撮影した動画や写真ファイルをmicroSDカードに保存します。付属品のmicroSDカードはファームウェアアップデートおよび録画データ保存用です。録画容量をより増やしたい場合は市販のmicroSDカードを別途ご購入ください。microSDカードは下記の仕様のもをお選びください。

U3

録画用microSDカード
U3(UHSスピード規格クラス3) / 32GB~256GB



- 安定した動画録画のため、転送速度U3クラスのmicroSDカードをご使用ください。それ以外の場合は動画の途切れや欠落が発生する恐れがあります。
- ドライブレコーダーは衝撃を検知すると、その時点の撮影ファイルをロックし、上書きされないよう保護します。ロックされたファイルが増加するにしがたい、ループ撮影が保存できる容量は圧迫されていきます。録画容量が足りず、録画ができない場合は、ロックされた録画ファイルを削除するか、ストレージ(microSDカード)をフォーマットしてください。
- ご用意いただいたU3クラスのmicroSDカードはファームウェアのアップデートにも使用できます。

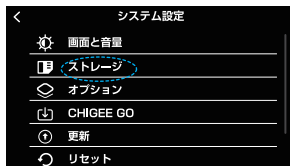
microSDカードのフォーマット方法

装着したmicroSDカードが本機で初めて使用される場合はまずカードのフォーマット(初期化)が必要です。また、メンテナンスの一環として、定期的に録画ストレージをフォーマットして、容量に空きがある状態を維持してください。

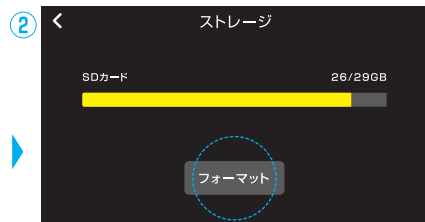
※フォーマットを行うと録画ファイルが全て消去されますのでご注意ください。



「システム設定」



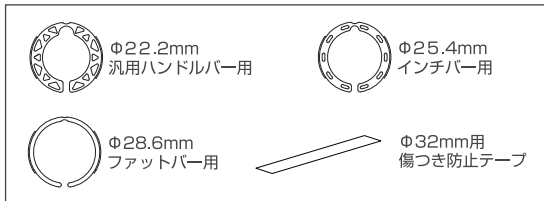
「ストレージ」



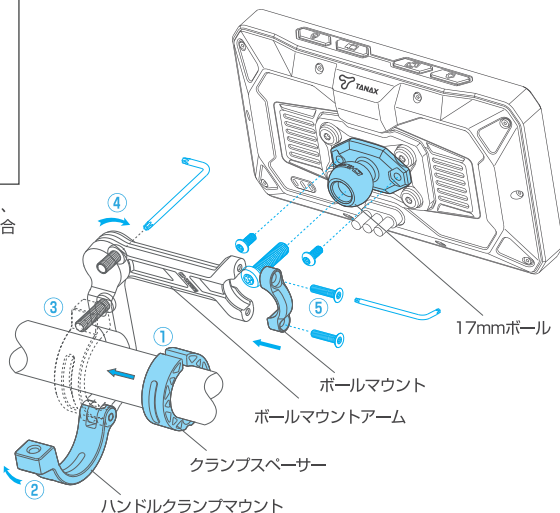
「フォーマット」

本体の取り付け

本体を付属品のハンドルクランプマウントを使用して車両のハンドルバーに取り付ける場合は下記の要領で取り付けてください。

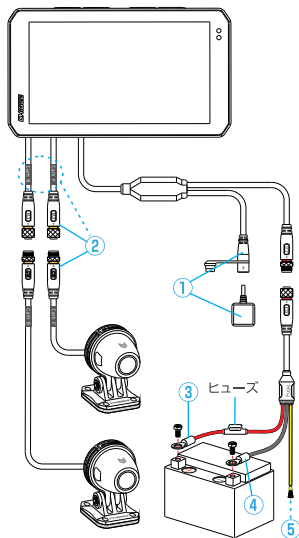


- ① ハンドルバーの径に応じて適切なサイズのクランプスペーサーを選択し、ハンドルバーに取り付けてください。ハンドルバーの直径が32mmの場合はバーを傷つけないように傷つき防止テープを使用します。
- ② 取り付けしたクランプスペーサーの上にハンドルクランプマウントを取り付けます。
- ③ スペーサーの凸とクランプの凹が噛み合うようにスペーサーの位置を調整し、クランプを固定します。
- ④ ボールマウントのアーム角度を決め、ネジを締めて固定します。
- ⑤ ボールマウントのネジを外し、モニター背面の17mmボールを挟み、マウントのネジを再度取り付け、締め込みます。必ずモニターの見えやすさや他部品との干渉を確認してください。問題なければ取り付け完了です。



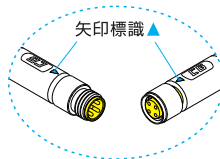
配線

下記の配線図の様に車両のバッテリーと本製品を接続して車両のキーをONにし、起動画面が表示されれば配線完了です。



- ① GPS受信機に接続します。
- ② カメラは下記表示によって前後を判別してから接続を行います。

Cam F フロントカメラ
Cam B バックカメラ



- ③ 電源ケーブルの赤い線をバッテリーの+に接続します。
- ④ 電源ケーブルの黒い線をバッテリーの-に接続します。
- ⑤ 電源ケーブルの黄色い線をACC(*)に接続します。

※ACC電源：車両のイグニッションがOFFの時は電圧が0Vに、ONの位置にある時は11～14.4Vの電圧を示す電源を指します。ACCは必ず車両の電源がONの時は常時電流が流れている箇所に確実に接続してください。

※接続する際は、同じ色のコネクタを合わせ、矢印標識▲に合わせて差し込み、ナットを締めてください。

注意

- 取付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子（マイナスターミナル）を外してください。結線中のショートにより、感電や車両火災の原因になります。
- 長時間曲げると配線が損傷する恐れがあるため、電源ケーブルはステアリングシャフトまたは可動部品に固定しないでください。
- 本製品の消費電力は9.184W(12Vの場合)です。挙動が不安定になる場合があるので他のアクセサリや車両の発電容量に注意してください。

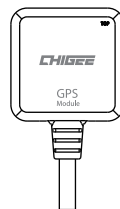
GPSの設置場所と要件

GPS 受信機は下記の注意事項をよく確認し、付属の GPS 受信機用両面テープで車両に貼り付けてください。

- ① カーボンファイバーの下には取り付けできません。
- ② 金属で遮蔽しないでください。
- ③ カメラとカメラケーブル、本体からできるだけ離してください。
- ④ 上部を空に向けてください。
- ⑤ GPSが受信できない場合は、取り付け場所を変更してみてください。

注意

GPS 受信機用両面テープを貼る場所は十分に脱脂を行い、貼り付け時は10秒以上強く押し付けてください。両面テープは貼付け後24時間で接着力が最大になります。貼り付け後24時間は触らないでください。



カメラの取り付け

カメラは最適な取り付け位置を確認し、下記の要領で取り付けてください。

取り付け位置について

カメラの取り付け位置は下記の要領で決めてください。

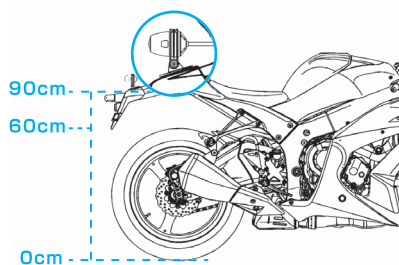
左右方向

フロントカメラ、バックカメラが共にできるだけ車両の中心軸上にあること。

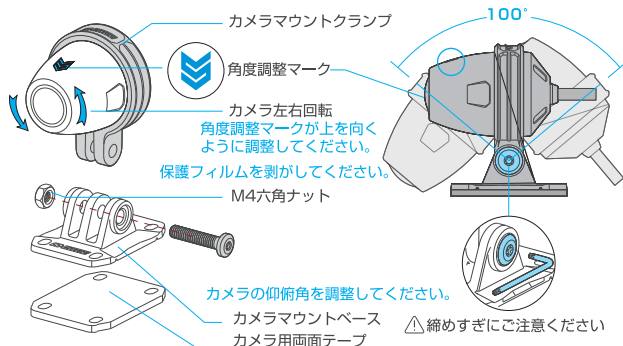
※ナンバープレート横やミラー付近など、車両中心からの多少のオフセットは問題ありません。


高さ方向

乗車していない状態でバックカメラが地面から60~90cmの高さに収まっていること。
(カメラマウントベース含む)



カメラの取り付け方法



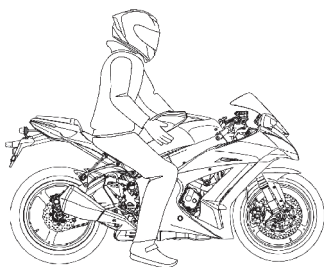
- ① カメラマウントベース裏面とカメラ取り付け場所を十分に脱脂した後、カメラ用両面テープでカメラマウントベースを貼り付けます。
- ② M4×20穴付きトルクスボルトを緩め、カメラの仰俯角と水平を調整してください。カメラの水平の調整はカメラの角度調整マーク  が上を向くようにカメラを回転させて行います。角度の調整ができればボルトを締め込んで調整完了です。
- ③ 使用前にカメラのレンズに貼られている保護フィルムを剥がしてください。



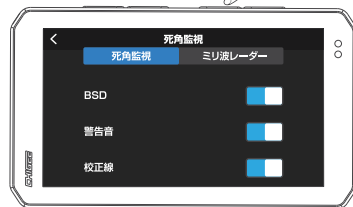
カメラ用両面テープを貼る場所は十分に脱脂を行い、貼り付け時は10秒以上強く押し付けてください。両面テープは貼り付け後24時間で接着力が最大になります。貼り付け後24時間は触らないでください。

バックカメラ角度の調整について

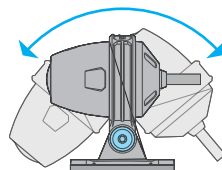
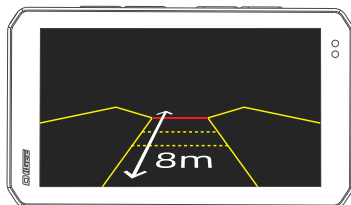
死角監視(BSD)機能を有効にするため、バックカメラの仰俯角(上下角)を下記の要領で調整してください。



レコーダーボタン



- ① 車両のシートにまたがり、サスペンションが沈んだ状態にします。
- ② ホーム画面「設定」→「オプション」→「死角監視」→「BSD」ON→「校正線」ONにします。
- ③ 本機上面のレコーダーボタンを押してレコーダー画面に切り替えます。



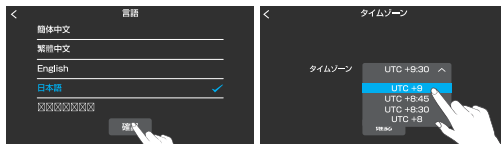
- ④ 車両の後方(バックカメラ先端)から8mの位置に目印になる物を置きます。
- ⑤ 目印が校正線の赤いライン上に映るようにカメラの仰俯角を調整します。

03 アクティベーション

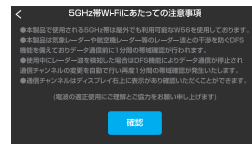
本製品をご使用になるにはまずWi-Fi環境下で初期設定を行います。



① 車両のイグニッションをオンにし、本機を起動します。



② 画面表示に従い、言語の選択とタイムゾーン※の設定を行います。これらの項目は後からでも変更可能です。
※日本のタイムゾーンは「UTC+9」を選んでください。



③ 「5GHz帯Wi-Fiにあたっての注意事項」の内容を理解したうえで、「確認」をタップします。



④ 「Wi-Fiネットワークに接続してください」と表示されるので、「今すぐ接続」をタップします。



⑤ Wi-Fi接続先を選び、Wi-Fi接続先のパスワードを入力します。接続先が見つからない場合は画面右上の更新マークCをタップして接続先リストを更新してください。※一度で接続先が見つからない場合は何度か更新を行ってください。Wi-Fi接続が成功すると「アクティベーションの成功」と表示されます。そのまま画面右上の「×」をタップすると使用上の注意が表示されます。



⑥ 表示された使用上の注意をフリックして読み進んでください。最後のページの画面右上に現れる「確定」をタップして完了です。

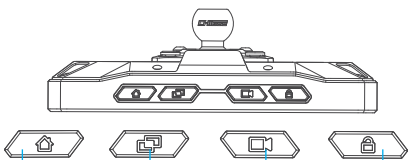
※注意

Wi-Fi環境がない場合はスマートフォンのテザリング機能※を利用してください。※iPhoneでは「インターネット共有」、Androidでは「テザリング」や「個人アクセスポイント（ホットスポット）」という呼称で使われていることもあります。

04 操作とインターフェース

画面上のメニュー名表記はファームウェアのバージョンによって変更される場合がございます。

ホットキー（物理ボタン）

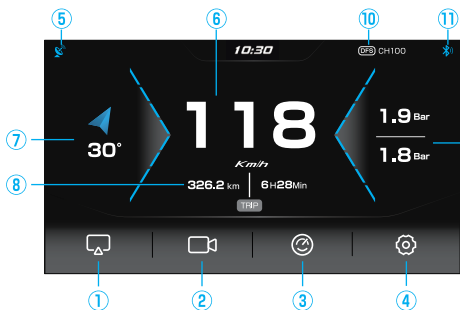


①ホームボタン ②リンクボタン ③レコーダーボタン ④ロックボタン

- ① ホームボタン : どの画面からでもホーム画面に戻ります。
- ② リンクボタン : 無線リンク画面とプロメーター画面に切り替わります。
- ③ レコーダーボタン : レコーダー画面に切り替わります。
- ④ ロックボタン : 短く押しすと画面オフ。2秒間長押しするとタッチ操作をロック。(雨天や雪天時の誤作動防止に適しています)。6秒間長押しすると再起動します。

ホーム画面

ホーム画面では速度や時間といった基本情報と、リンク/レコーダー/プロメーター/システム設定への入口が表示されます。



- ① リンク : 無線リンク画面に切り替わります。
- ② レコーダー : レコーダー画面に切り替わります。
- ③ プロメーター : プロメーター画面に切り替わります。
- ④ 設定 : システム設定画面に切り替わります。
- ⑤ GPS受信インジケータ : GPS受信時に青色に点灯します。
- ⑥ 速度計 : 時速の表示。※1
- ⑦ コンパス : 進行方向の表示。※2
- ⑧ トリップメーター : TRIPを長押しするとリセットされます。
- ⑨ タイヤ空気圧 : タイヤ空気圧の表示。※3
- ⑩ DFSマーク/使用CH : WiFi接続を行う際に屋外モードW56帯を使用する時に作動する、DFS機能の作動状況を表示します。DFSの電波干渉チェック時に点滅、使用CHが隣に表示されます。
- ⑪ Bluetooth接続状況 : Bluetooth接続時に点灯します。

※1 GPSによる位置情報からの速度計測のため、実際の走行速度と若干の誤差があります。
※2 走行速度10km/h以上かつ測位衛星数が5個以上の条件で更新されます。
※3 別売りオプション品(SRS-002 タイヤ空気圧センサー)の装着が必要です。



接続の前に



- 1) スマートフォンのBluetoothとWi-Fiをオンにします。
- 2) iPhone → iOS を最新バージョンにアップデートしてください。
Android → Android と Android Auto を最新バージョンにアップデートしてください。
"Play ストア" アプリ上で「AndroidAutoアプリ」を選択→[アンインストール]→[更新]
- 3) 本機のファームウェアアップデート(前ページ参照)を行ってください。

- ① 接続設定 ② 接続デバイス選択ウインドウ ③ 接続の補足説明



画面表示の内容や使用できるアプリはApple CarPlayやAndroid Autoの仕様に依存するため、スマートフォンのアプリが全て表示される訳ではありません。

- ① **接続設定** 無線リンクに使用するWi-Fiの帯域の選択やペアリング設定の削除等ができます。

■ 自動接続

本機を次回使用する際に、一度接続したスマートフォンに自動で接続します。

■ 高フレームレートモード

画面リフレッシュレートを30FPS→60FPSに切り替えFPSが上がるほどカクつきがなく滑らかな画面描画になります。※2.4GHz帯では使用できません。

■ 2.4GHzモード

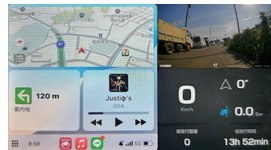
データ通信に使用するWi-Fi接続帯域を通常の5GHzから2.4GHz帯に切り替えられます。接続が安定しない時にご使用ください。

2.4GHzモードの特徴と注意点


- DFSがオフになり、接続待ち時間がなくなります。
- 遮蔽物に強く接続しやすい。
- Android Autoは2.4GHz帯での接続が正式サポートされていません。5GHz帯で使用可能な高フレームレートモードが使用できません。機種によっては再ペアリングが必要になります。

■ 融合モード

スマートフォンリンク画面/カメラ画像/プロメーターの3画面同時表示が可能になります。



■ 接続レコード

過去に接続したスマートフォンの接続履歴を削除できます。リストの接続機種名の右に表示されたゴミ箱マーク  をタップすると履歴を削除できます。

- ② 接続デバイス選択ウインドウ



Apple CarPlayまたはAndroid Autoを有効にするには、各携帯端末をBluetooth 経由でCHIGEE-XXXX とペアリングします。ウインドウをタップすると接続候補として「CarPlay」「Android Auto」「HiCar」「BT」が表示されますが、日本国内では「HiCar」と「BT」は使用しません。

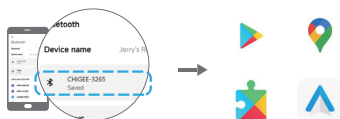
Apple CarPlay

1. iOSデバイスの設定メニューより、Bluetooth接続先にCHIGEE-XXXXを検索し、接続します。
※CHIGEE-XXXX はメッセージ通知チャンネルです。こちらに接続すると画面リンクはせずにメッセージ通知のポップアップのみ表示されます。
2. スマートフォンにCarPlayのポップアップウインドウが表示されたら、[接続]をタップして使用します。
スマートライドモニターに[Bluetooth接続を許可する]ウインドウが表示されますので[確認]をタップしてください。



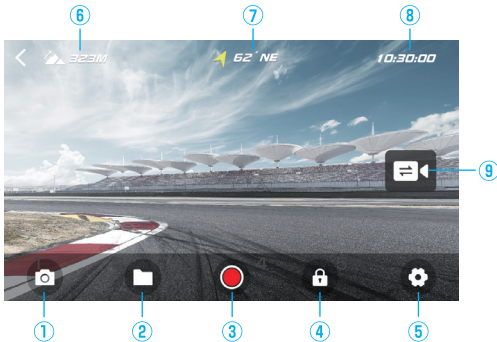
Android Auto

1. AndroidデバイスをBluetooth経由でCHIGEE-XXXXとペアリングします。
※CHIGEE-XXXX はiOS通知専用ですのでAndroid端末では接続しないでください。
2. スマートライドモニターに[Bluetooth接続を許可する]ウインドウが表示されますので[確認]をタップしてください。
3. Android Autoアプリが最新であることを確認します。



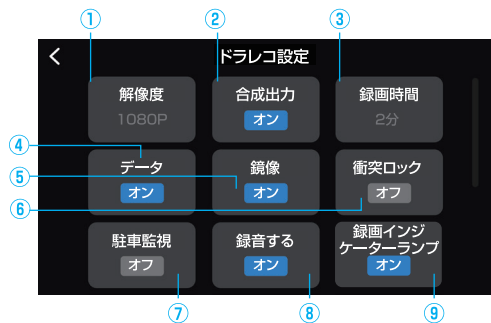
レコーダー画面

レコーダー画面ではカメラのライブビュー映像の表示と、ドライブレコーダー機能の詳細設定を行うことができます。



- ① 静止画撮影
- ② フォルダの表示
- ③ 録画開始/停止
- ④ ファイルをロック
タップした時点の録画ファイルを上書き不可にします。
- ⑤ ドラレコ設定
ドラレコ設定画面に切り替わります。
- ⑥ 標高
- ⑦ コンパス
- ⑧ 時刻
- ⑨ 表示カメラ切替

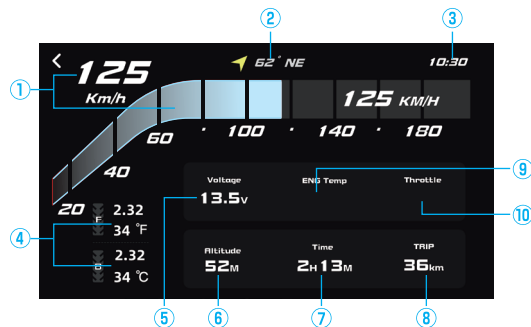
ドラレコ設定画面



- ① 解像度
1080P/27.5fpsもしくは720P/27.5fpsの解像度を選択できます。
- ② 合成出力
前後カメラの画面を1画面に統合し1つのビデオファイルにまとめます。録画可能なファイルは多くなりますが、合成したファイルを後から分離することはできません。
- ③ 録画時間
ループ録画の撮影サイクルを1分/2分/3分から選択可能です。
- ④ データ
ビデオ画面に表示するデータ(日時/速度/緯度経度)を選択します。より詳細な設定はCHIGEE GOアプリで設定可能です。
- ⑤ 鏡像
バックカメラ(カメラB)を鏡像プレビュー設定するとバックミラーと同じ見え方になります。
- ⑥ 録音設定
集音する音量とマイク感度の設定が可能です。
- ⑦ 衝突ロック
衝突を感知した時に録画ファイルをロックし保護する機能。
- ⑧ 駐車監視
電源が入っていない状態で車両への衝撃を感知すると、約60秒録画を行います。
- ⑨ 録画インジケータランプ
録画時のインジケータ点滅のON/OFFを選択できます。

プロメーター画面

プロメーター画面では速度のグラフ表示/方角/時間/標高/バッテリー電圧など、車両の状態が表示されます。



- ① GPS速度計※1
- ② コンパス※2
- ③ 時計
- ④ タイヤ空気圧・温度※3
- ⑤ 電圧
- ⑥ 標高
- ⑦ 稼働時間
- ⑧ 走行距離
- ⑨ エンジン温度※4
- ⑩ スロットル開度※4

※1 GPSによる位置情報からの速度計測のため、実際の走行速度と若干の誤差があります。

※2 走行速度10km/h以上かつ測位衛星数が5個以上の条件で更新されます。

※3 別売りオプション品(SRS-002 タイヤ空気圧センサー)の装着が必要です。

※4 別売りオプション品(SRS-026 汎用データアクセスモジュール CG OBD)の装着が必要です。

その際、車両・年式により必ずしも全ての情報が表示されるわけではありませんのでご了承ください。



画面と音量

画面の明るさ、自動調光のオン/オフ切り替えと操作音や起動音の音量を調整できます。

ストレージ

microSDカードの残容量の確認やフォーマット作業ができます。(フォーマットを行うと以前のデータは削除されます。重要なファイルはフォーマット前にバックアップしてください。)

オプション画面



言語

言語を設定できます。

日時

日付と時間を設定できます。日時の形式やタイムゾーンの設定も可能です。

空気圧

SRS-002 タイヤ空気圧センサー(オプション・別売)との接続や表示単位の切り替えを行う事ができます。また、低圧警報値と高圧警報値の変更もできます。

オプション

オプション画面に入ります。設定のカスタマイズや情報の確認ができます。

CHIGEE GO

専用アプリCHIGEE GO接続モードのオン/オフ切り替えができます。接続することで、録画データをスマートフォンに転送が可能です。

更新

FW(ファームウェア)のバージョン確認やアップデート作業ができます。(SDカードの挿入が必要です)

リセット

工場出荷時の設定に戻ります。ファームウェアアップデート時にWi-Fiの接続先が見つからない場合や、使用中に不具合が起こった際は一度リセットをお試しください。工場出荷時の設定を復元すると、すべてのプリセットがデフォルトに変更されます。

About

More

走行距離単位、温度単位、休憩リマインダー、カメラ切り替えなどの設定が可能です。

音声出力

Android AutoモードでBluetoothヘッドセットに接続します。

リモコン

プロワイヤレスリモコン(SRS-006)とのペアリングを行う事ができます。

アクションカメラ制御

GoPro、Insta360、DJI製アクションカメラと互換性があり、リモート撮影、リアルタイムプレビュー※、ワンタッチハイライト、スリープ解除、同期された録画パラメータと継続時間の表示、ライディングトラックのオーバーレイをサポートします。※リアルタイムプレビューはGoProのみ

GPS

電波強度、衛星数、速度、緯度経度を確認できます。

OBD

汎用データアクセスモジュール CG OBD(SRS-026)とのペアリングを行う事ができます。

死角検知

死角検知(BSD)機能のオン/オフ切り替えができます。BSDをオンにすると車両が後方のブラインドスポットから接近すると、装置が音と視覚による警報を発します。

Information

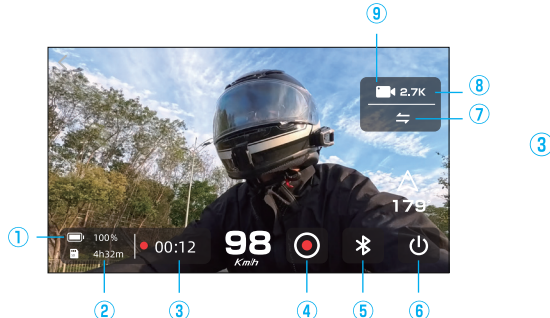
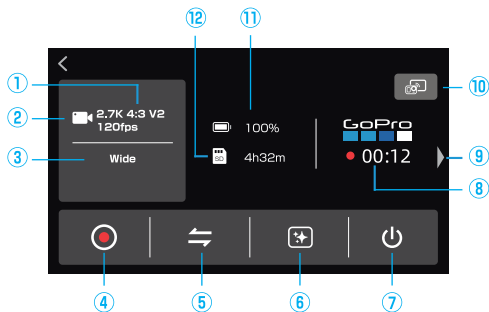
本機の使い方やお役立ち情報を発信しているYouTube タナックス公式チャンネルにアクセスできるQRコードが表示されます。

BSD免責事項

死角検知(BSD)機能は走行中の安全を補助する機能です。あくまで補助的な機能であり、誤報や警報の見逃しが発生する可能性もあります。BSDシステムをご使用の際は、本機能が周囲の状況を把握するための動作、安全のための基本的な動作(バックミラーの確認、死角を確認するための目視、方向指示器の使用、適切な速度調整など)と完全に置き換わるものではない点にご注意いただき、安全運転の補助としての活用をお願いします。

アクションカメラ制御

GoPro, Insta360, DJI製アクションカムをペアリングし、本機画面から遠隔操作できます。
 ※本機能はスマートフォンとの無線リンク機能と同時使用はできません。



Bluetooth制御モード画面

- | | |
|--------------|--------------------|
| ① 録画/写真パラメータ | ⑦ スリープ/スリープ解除 |
| ② 録画/写真モード | ⑧ 録画時間 |
| ③ 撮影角度 | ⑨ 画面の切替え |
| ④ 録画の開始/停止 | ⑩ Wi-Fi プレビュー |
| ⑤ 撮影モードの切替え | ⑪ カメラのバッテリー残量 |
| ⑥ ハイライトの追加 | ⑫ カメラのSDカードの録画可能時間 |

Wi-Fi プレビュー画面 (※日本国内ではGoProのみ対応)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| ① カメラのバッテリー残量 | ⑦ 撮影モードの切替え |
| ② カメラのSDカードの録画可能時間 | ⑧ 録画/写真パラメータ |
| ③ 録画時間 | ⑨ 録画/写真モード |
| ④ 録画の開始/停止 | |
| ⑤ Wi-Fi プレビューを終了し、Bluetooth制御モードに切替え | |
| ⑥ スリープ/スリープ解除 | |

05 CHIGEE GO アプリ

本製品はスマートフォンアプリ「CHIGEE GO」を使用してビデオのダウンロードなどを行います。

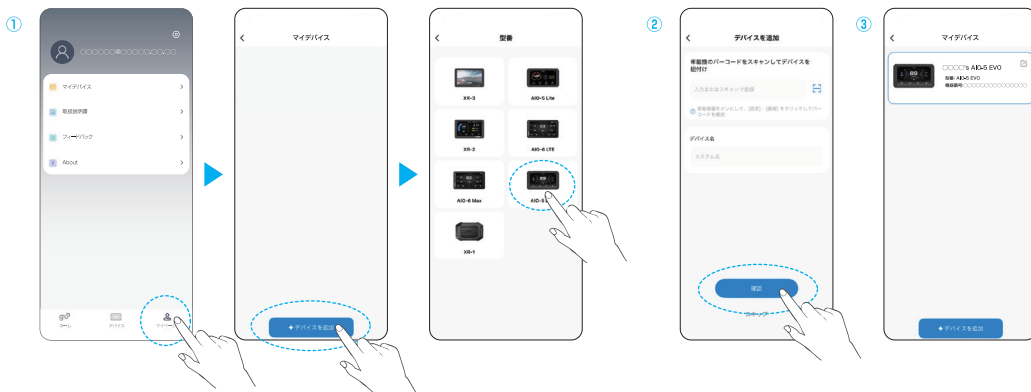


インストールと認証

- QRコードをスキャンしてスマートフォンにCHIGEE GOアプリをダウンロードし、指示に従ってインストールしてください。
- アプリを起動し、注意事項の同意と通知/位置情報/アルバム/Bluetooth権限の付与を行います。
- 次のページでメールアドレスを入力【コード取得】で取得した認証コードを入力し、認証を完了します。
 ※認証コードの受信に時間がかかる場合があります。

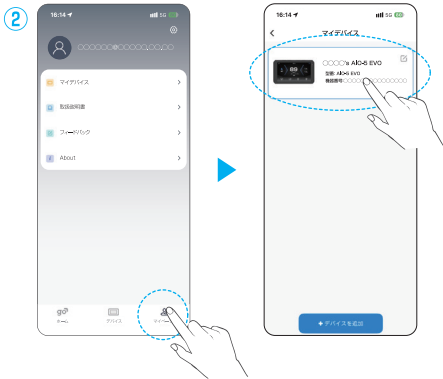
デバイスの登録

- スマートフォンにインストールした CHIGEE GO を起動し、画面右下の [マイページ]→[マイデバイス]→[+デバイスの追加]→[型番]画面に進み、[AIO-5 EVO]をタップします。
- [デバイスを追加]画面に移行するので、本機のバーコードをスキャンもしくは入力します。デバイス名欄には任意の名称を入力してください。バーコードは[設定]→[About]で表示できます。バーコードをスキャンしたら、画面下の[確認]をタップして登録完了です。
- [マイデバイス]画面に表示された登録機器をタップすると接続画面に移ります。

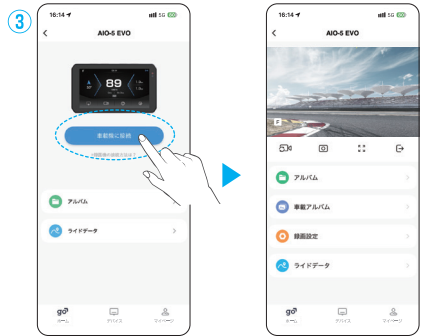


デバイスの接続

- ① モニターの[システム設定]→[CHIGEE GO]をタップします。CHIGEE GOの文字の右隣のスイッチをON  にしてから CHIGEE GO を起動します。



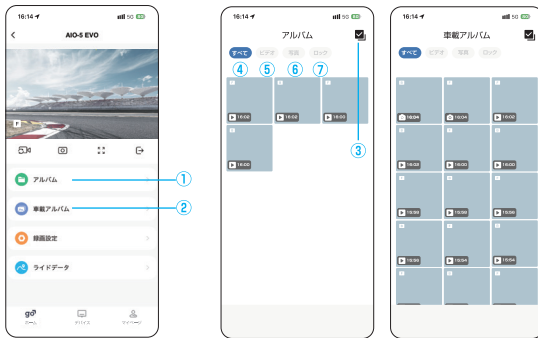
- ② スマートフォンの CHIGEE GO を起動し、[マイページ]→[マイデバイス]で登録した本機をタップします。








- ③ スマートフォン画面の [車載機に接続] をタップしモニターに表示された接続の承認画面の[確認]をタップするとスマートフォンとモニターが接続されます。

動画/写真のダウンロード

スマートフォンとモニターが接続されると、モニターに保存されている動画や写真をスマートフォンにダウンロードすることができます。





- ①アルバム：モニターからスマートフォンにダウンロードした動画/写真
 ②車載アルバム：モニターに録画された動画/写真
 ③  : タップすると複数のクリップをまとめて選択し、削除またはダウンロードできます
 ④  : すべてのビデオと写真を表示
 ⑤  : ビデオクリップのみを表示
 ⑥  : 写真のみを表示
 ⑦  : ロックされたビデオクリップのみを表示


動画の編集

アルバムにダウンロードした動画ファイルは、走行軌跡と併せて再生したり、時間や速度、標高といったデータを重ね合わせ、書き出すことができます。



- ①  **リアルタイムトラック**
走行軌跡を同時に再生します

- ②  **スタッキング**
メニューから任意のデータを選択し、動画に重ね合わせます

- ③  **エクスポート**
ビデオにデータを重ね合わせた後、アルバムに書き出します

06 ファームウェアアップデート

本製品は新しい製品機能を導入するために定期的にシステムアップグレードを実施します。

本製品は機能性の向上や不具合解消のため、予告なく新しいファームウェア(FW)※をリリースする場合がございます。

最新FWの更新情報は「システム設定」→「更新」または弊社ウェブサイトでご確認いただけます。快適な使用感を維持できるよう、定期的にFWのバージョンをご確認ください。

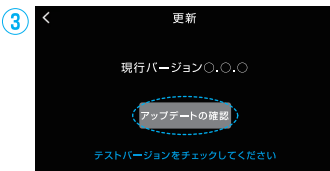
※ファームウェア：コンピュータや電子機器の基本的な制御を行うためのソフトウェア



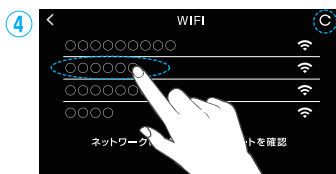
① 「システム設定」



② 「更新」



③ 「アップデートの確認」※



④ 接続先を選ぶ ※



接続成功を確認



⑥ 「今すぐ更新」



⑦ ファームウェアのダウンロード



⑧ 再起動できたら完了

※手順③で[テストバージョンをチェックしてください]をタップするとベータ版ファームウェアをダウンロードできます。インストールして新機能や最適化をテストできます。

※手順④で目的の接続先が見つからない場合は更新マーク **C** をタップし、接続先リストを何度か更新してください。

※注意

- アップデートにはmicroSDカードが必要です。(付属品としてはじめから本体に挿入されています。)(「設定」→「ストレージ」でSDカードが挿入されていることを確認してください。)
※録画用SDカードをご使用中の場合はそのままFWアップデートにもお使いいただけます。
- 本作業はWi-Fi環境下、もしくはスマートフォンのテザリング機能※(インターネット共有機能)使用下で行ってください。
※ iPhoneでは「インターネット共有」、Androidでは「テザリング」や「個人アクセスポイント(ホットスポット)」という呼称で使われています。
- 通信環境により接続が安定しない場合があります。その際は別の接続先を選んでもう1度始めから行ってください。
- 屋内でアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続チャンネルをW52に切り替えると接続しやすくなります。
- アップデートに失敗した場合はSDカードをフォーマットするか、SDカードを新しいものと交換してください。
- 付属のmicroSDカードを紛失した場合はU1(UHSスピード規格クラス1) / 8GB以上のものをご使用ください。
- 偶発的な停電などによりデバイスのアップグレードが失敗し、デバイスを再度オンにできない場合は、カスタマー サービスに連絡し、アップグレードファイル入りmicro SD カード を入手してください。
- ※ 予期せぬ停電やその他の問題によりファームウェアのアップデートが失敗し、デバイスの電源が入らない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。 サービス直通ダイヤル：04-7150-2457

07 お手入れ方法





1. レンズガラスがきれいであることを確認してください。異物がレンズを傷つける可能性があるため、レンズを清掃するには柔らかい乾いた布を使用することをお勧めします。
2. カメラのレンズに砂やほこりが詰まった場合は水で洗い流してください。
3. すべてのコンポーネントの洗浄には、油性洗剤やその他の有機溶剤の使用は避けてください。腐食、防水性能の低下、保護コーティングの不具合を引き起こす恐れがあります。

08 故障かな?と思ったら/困ったときは

スマートフォンとスマートライドモニターが接続しない、接続しにくい、接続が不安定な場合には、まず下記の手順をお試しください。

① 接続レコードの削除

スマートフォンのBluetoothとWi-Fiをオフにして、一旦スマートライドモニターとの接続を切ります。スマートライドモニターのホーム画面→下段左端の[無線リンク]→下段の[設定]  →[接続レコード] に表示されている端末名の右のゴミ箱マーク  をタップし、表示されている端末名をすべて削除します。

② FWアップデート

スマートライドモニターのホーム画面→下段右端の[システム設定]→[更新]→[アップデートの確認]→Wi-Fiもしくはテザリングでネットワークに接続→[アップデートの確認]→最新バージョンがリリースされているダウンロードしてアップデートします。ダウンロード後は再起動するまでお待ちください。

Androidスマートフォンの操作

③ Bluetoothペアリングの解除

設定→[Bluetooth]→[ペアリング済みデバイス] 右側のインフォメーションマークをタップ→[ペアリングを解除]

④ Androidのセキュリティアップデート

設定→[デバイスについて]→[Androidバージョン]→[Androidセキュリティアップデート]

⑤ Playストアの更新

[Playストア] アプリを起動→画面右上[プロフィール]アイコンをタップ→[設定]→[概要(基本情報)]→[Playストアのバージョン]→[Playストアの更新]

⑥ Android Autoの更新

[Playストア] アプリを起動→Playストア内で[Android Auto]を検索→[アンインストール]→[更新]

⑦ Bluetoothの再ペアリング

設定→[Bluetooth]→[使用可能なデバイス]→[ペアリング]

iPhoneの操作

③ Bluetoothペアリングの解除

設定→[Bluetooth]→[自分のデバイス] 右側のインフォメーションマークをタップ→[このデバイスの登録を解除]

④ CarPlayをオンにする

設定→[スクリーンタイム]→[コンテンツとプライバシーの制限]→許可されたアプリと機能→"CarPlay"をオンにする。

⑤ iOSのアップデート

設定→[一般]→[ソフトウェアアップデート]

⑥ Bluetoothの再ペアリング

設定→[Bluetooth]→[その他のデバイス]→[ペアリング]

※スマートフォンのセキュリティアプリがスマートライドモニターとの接続に影響する場合があります。下記手順と併せてセキュリティアプリのオフ、もしくはVPN接続の解除もお試しください。

上記手順をお試しいただいてもなお不具合が解消されない場合は弊社までお問い合わせください。その際は下記情報も併せてお知らせください。

- 1)スマートライドモニターの機種名
- 2)スマートライドモニターのFWバージョン
- 3)スマートフォンの機種名
- 4)スマートフォンのOSバージョン

09 アフターサービス

保証について

- 一部例外を除き、ご購入日から12か月以内に製品の不具合が認められた場合、無償にて修理いたします。(修理が困難な場合には同品との交換を検討いたします。)
- 往復送料は弊社にて負担いたします。(着払いにて弊社宛にお送りください)
- 保証適用のためにご購入の履歴がわかる書類 **(注文確定メールや納品書、またはレシート等のコピー)**を確認させていただきます。
- ご購入の履歴がわかる書類のご提示がない場合や、正規販売店以外でご購入された場合は保証対象外となります。
- お住まいの地域によっては制約事項および例外事項が適用されることがありますので、ご了承ください。
- 保証期間中でも、保証対象外の場合は有償修理になります。

保証適用のため、ご購入履歴がわかる書類は必ず保管してください。
(レシートまたは注文確定メールや納品書等)

保証対象外となる場合

- 使用上の誤り、分解、または改造や不当な修理による故障および損傷
- 高圧洗浄機の使用による浸水による故障および損傷
- 落下、転倒事故、輸送等による故障および損傷
- 火災、地震等の天変地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷
- オートノイ以外に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷
- 購入証明のご用意が出来ない場合、またお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の確認ができない場合や改ざん等の不正が認められる場合
- オークション等の個人間売買(譲渡)などを含む中古販売によって入手した製品である場合。
- その他、製品の誤用や不当な扱いによる損傷、表面的な損傷、機会損失等の費用などの付随的または必然的な損害

<お問い合わせ窓口のご案内>

サービス直通ダイヤル：04-7150-2457 もしくは
タナックスHP→[製品・修理・サービスに関するお問い合わせ]フォーム
よりお問い合わせください

品番/品名	SRS-050 スマートライドモニター-A10-5 EVO	
本体寸法 / 重量	136.2×78.8×26.8mm / 320g	
ディスプレイ	5.0インチ / 1280x720p(HD) / IPSタッチパネル / 1200 nits	
ケーブル長 ※ケーブル付根から 接続端子先端までの計測値	本体 <ul style="list-style-type: none"> Cam F (フロントカメラ) — 各58cm Cam B (バックカメラ) — 各58cm GPS受信機 — 各58cm 電源 — 各58cm + <ul style="list-style-type: none"> Cam F (フロントカメラ) — 100cm Cam B (バックカメラ) — 255cm GPS受信機 — 100cm 電源(+/-/ACC) — 各203cm 	
防水仕様	本体: IP69K / 前後カメラ: IP68	
作動温度	-20℃ ~ 60℃	
動作電圧/電流	動作電圧: 12-18V DC / 動作電流: 0.6A	対応車両電源: 12V~18V
消費電力	運転時 9.184W (1600 nits) / 停止時 0.005W	電源周波数: 50Hz/60Hz
駐車監視時 消費電力	待機中: 約100μA(0.0012W) / 録画中: 約0.6A(7.2W) ※DC12Vで使用時	
搭載センサー	GPSセンサー / ジャイロセンサー / Gセンサー	表示: 速度 / 時間 / 方向
衛星測位システム	GPS / BDS / GLONASS / Galileo / QZSS / SBAS	
外部ストレージ	microSDカードスロット 最大256GB (ファームウェアアップデート&録画データ保存用) 32GBmicro SDカード付属 ファームウェアアップデート用 録画データ保存用 U1(UHSスピード規格クラス1)/8GB以上 U3(UHSスピード規格クラス3)/32GB以上	
Bluetooth規格	5.0	
Wi-Fi規格	IEEE 802.11n/ac (※Apple CarPlay、Android Autoとの通信は5GHz帯(屋外): W56(DFS機能搭載)2.4GHz(屋内・屋外)を使用)	
システム要件	Apple CarPlay: iPhone 6s以上 / iOS 13以上 Android Auto: Android 11以上	
前後カメラ	視野角: D136.6° (H115.6° , V61.6°) / F値: 1.8 解像度 / フレームレート: FHD(1920×1080p) / 27.5fps 明暗補正: HDR	
記録方式	ループ録画: 1分/2分/3分 サイクル / 緊急自動録画: 60秒	
記録フォーマット	MP4 / JPEG	
録画再生方法	①本体 ②PC 各種MP4対応プレーヤー(Windows / Mac) ③スマートフォンアプリ(CHIGEE GO / 各種MP4対応プレーヤー)	

※日本の電波法に基づいた仕様となりますので、海外への持ち込みはできません。

※ファームウェアの更新により各数値が変更される場合がございますので、予めご了承ください。

その他の対応オプションに関してはタナックスWEBサイトの製品ページをご参照ください



TANAX WEB サイトへ
簡単アクセス!
<https://www.tanax.co.jp>




タナックス株式会社
千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7 〒270-0128
TEL: 04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7, OTAKANO, MORNISHI, NAGAREYAMA-SHICHIIBA
270-0128 JAPAN TEL: +81-4-7150-2450

